

「暮らしの知恵シリーズ③～⑦

次世代に伝えたいブレないマナー講座」を開催しました



平成23年1月14日から2月25日までの期間、5回にわたって成城大学&徳島文理大学 兼任講師 成城大学民俗学研究所 研究員 民俗作法研究会 会長 村尾 美江さんをお迎えしました。

第1回は、マナーの心得と基本というテーマでした。マナーは人それぞれ違うもので、一緒にいる相手に恥をかかせないことが一番大切ですが、基本が分かっていないとブレてしまうというお話でした。

第2回は、電話・はがき・手紙・メールについてでした。各家庭の固定電話より携帯電話の利用頻度が増えたり、様々な手口の詐欺事件が起こったりと生活環境の変化によって、かかってきた電話にはなるべく個人情報をおかさないなどの注意が必要になったため、マナーも時代によって変化していると感じました。



第3回から第5回は、飲食・贈答・冠婚葬祭についてでした。それぞれ起源と意味についてのお話を交えつつ、箸やご飯茶碗、熨斗袋、のしぶくろ 柵さかきなどを使って実習しました。上の写真は、ほうしよ奉書紙と水引を使って熨斗袋を作っているところです。



マナーと一口に言っても、歴史や風習、流派によって様々だということを教えていただきました。マナーは、人を批判するためのものではありません。人に恥をかかせないためには、間違いを公の場では指摘しない、たとえ間違っている場合もその場は相手に合わせるなどの心配りが必要だそうです。